

古文書をデジタルに 400年の歴史データで保存

「津島神社古文書調査」は8月18日、津島神社で行われ、調査を実施した宮城学院女子大学の学生や地元の高校生など約30人が参加しました。

古文書調査は、津島神社に所蔵されている古文書を整理、デジタル化し調査を行うのが目的。当日は、古文書を1枚1枚丁寧に広げながらカメラで撮影。参加者はロマン溢れる古文書の世界に触れる貴重な機会となりました。安倍結子さん(佐沼高3年)は、「何百年も前に書かれた資料を目にして驚きました。完全な姿のまま残すことは難しいので、正確な情報として後世に伝えるための大事な作業だと思います」と話しました。



調査には伊達武将隊の支倉常長も参加。すらすらと古文書を読み上げながら、学生たちに記載されている事柄を解説しました。

木に触れ使って学ぶ 簡単楽しい親子木工教室

「魔法の材料『組手什』で棚を作ろう」は8月7日、迫公民館で開かれ、16組36人の親子が参加しました。

参加者は、講師の竹中雅治さん(登米町森林組合参事)から、間伐材を用いた組立家具である組手什についての話や、組み立て方の説明を受けた後、実際に棚を制作。青山ひなさん(8)＝迫町光ヶ丘東＝は、「くぎを使わないのでパズルみたい。うまく組み立てることができてうれしかった」と話しました。講師の竹中さんは参加者に向けて、「組手什を通じて、身近にある木や森林に興味を持ち、木を使うことが健全な森づくりにつながっていることを知ってほしい」と話しました。



講師から組手什の組み立て方のコツを教わりながら、親子で協力して2基の棚を作りました。

空を見上げてみよう 登米公民館で星空観察会

「星空観察会」(とよまコミュニティ運営協議会主催、佐藤貞一会長)は8月19日、登米公民館で開かれ、市内の小中学生とその家族11人が参加しました。

同観察会は年3回開催予定。1回目となる今回は、とよまサイエンスの船木實さんと清野和裕さんを講師に、太陽の黒点についての講話と観察体験を行いました。講話ではプラズマやオーロラなど太陽に関係する自然現象の説明に参加者は興味津々。金田唯さん、隼翔さん(7)＝登米町峯畑＝は、「先生のお話は少し難しかったけれど、望遠鏡を使って黒点を紙に描き写すのが楽しかったです」と笑顔で感想を話しました。



天体望遠鏡を通して記録用紙に投影した太陽には、はっきりと映し出された黒点を見ることができました。

爽やかな歌声が響く ドリキがチャチャで公演

「劇団ドリーム☆キッズミニミュージカル」は8月11日、チャチャワールドいしこしで開かれ、20人の団員が9月の公演を前に「ゴースト★マイフレンズ!～星祭りの夜に～」から選出した5曲の歌とダンスを披露しました。

照りつける日差しの中、団員の爽やかな歌声が園内を包み込むと、来場者たちは足を止め、大きな拍手を送っていました。団員の小野寺龍神さん(18)＝迫町上舟丁＝は「夏空の下、全員が楽しんで演じることができました。9月の公演が私にとって最後の活動になるので、全力を出し切りたいです」と力強く話しました。



感染症対策のためマスク着用での公演でしたが、マスク越しでも伝わる表情と演技で観客を魅了しました。

一人一人丁寧に指導 3年ぶりに絵画教室開催

「おとなの幾何学絵画教室」は8月27、28の両日、中田生涯学習センターで開かれ、12人が参加しました。

今回のテーマは「直線と構成」。中田町出身でフランス・パリ在住の世界的造形作家、佐藤達氏が講師となり、「線にもいろいろある。長い短い、太い細い。その組み合わせが多様な構成の作品となる」など基本的な考え方を説明。参加者は思い思いに趣向を凝らした作品を制作しました。千田恵里子さん(63)＝栗原市築館＝は「デッサンは線にシャープさが出るよう工夫しました。鉛筆を使い分けながら芯の硬さや濃度を生かすように色を塗るのが楽しいですね」と笑顔で話しました。



佐藤氏が参加者の作品に定規を当て線を引きたり、筆使いの手本を見せたりしながら、芸術に触れる楽しさを伝えました。

戦後77年、平和を願う 祝祭劇場で戦没者追悼式

「登米市戦没者追悼式」は8月18日、登米祝祭劇場で開かれ、献花に訪れた遺族や関係者など約200人が戦没者に哀悼の意をささげました。

献花は、昨年に引き続き感染症対策として時間と間隔を空けて実施。会場を訪れた皆さんは、献花台に白菊の花を手向けて深々と頭を下げ、手を合わせました。参列した佐藤裕之さん(83)＝東和町米川6区＝は、「現在も世界で起きている争いのことを思い、平和の大切さを改めて強く感じます。私の父は25歳の若さで亡くなりました。多くの犠牲を無にしないため、戦争と平和を伝え継ぐ式典に参加し祈り続けたい」と話しました。



白菊を献花台に供え手を合わせる参列者の皆さんは、戦没者に思いをはせ、世界の恒久平和を祈りました。